

山形県地域密着型サービス外部評価結果報告書

<認知症対応型共同生活介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

※自己評価項目番号26 馴染みながらのサービス利用
自己評価項目番号39 事業所の多機能性を活かした支援
については、小規模多機能型居宅介護事業所についてのみ記入

事業所番号	670801109
法人名	株式会社ケアサービス鳥海
事業所名	グループホーム まいづる
訪問調査日	平成 20 年 9 月 9 日
評価確定日	平成 20 年 11 月 5 日
評価機関名	山形県国民健康保険団体連合会

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	670801109		
法人名	株式会社ケアサービス鳥海		
事業所名	グループホーム まいづる		
所在地 (電話番号)	山形県酒田市麓字横道10番地8 (電話) 0234-64-3321		
評価機関名	山形県国民健康保険団体連合会		
所在地	山形県寒河江市大字寒河江字久保6番地		
訪問調査日	平成20年9月9日	評価確定日	平成20年11月5日

【情報提供票より】(平成20年8月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 18年 2月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7人	常勤 7名 非常勤 0名	常勤換算7.0名

(2) 建物概要

建物形態	併設	新築
建物構造	木 造り	
	1 階建ての	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	4,500 円
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,000 円	

(4) 利用者の概要(8月1日現在)

利用者人数	9 名	男性 3 名	女性 6 名
要介護1	1 名	要介護2	2 名
要介護3	5 名	要介護4	0 名
要介護5	1 名	要支援2	0 名
年齢	平均 85.7 歳	最低 75.4 歳	最高 94.2 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	酒田市立八幡病院
---------	----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

管理者を中心に5つの目標(1、素敵な笑顔 2、尊厳を守る 3、安心して快適な生活 4、安全で健やか暮らし 5、地域に密着した暮らし)に日々取り組んでいる、一生懸命さが伝わってくる明るい雰囲気のあるホームです。職員7名(全員が常勤職員)と9名の利用者が一つの家族のように仲良く暮らしていること、また、ホーム併設の有料老人ホームやデイサービスの利用者とも交流できていることは、利用者一人ひとりに安心感、楽しみ、そして潤いをも与えてくれているようです。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	利用料請求時に健康や日々の暮らしが毎月報告されており、行事等があった場合は「写真便り」を作って家族に送るようにしている。また、運営推進会議や家族面会時の報告、定期的な広報の発行も行われている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	前回評価での改善課題について、職員全員による積極的で具体的な取り組みが進められてきている。また、今回の自己評価では、日頃の介護を振り返りながら評価項目の読み合わせを行い、職員全員で検討したものを管理者がまとめているため、その過程を通じて評価の意義の理解も深められている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は2ヶ月ごとに開催されており、事業報告や評価の改善状況報告を行い、会議で出された意見やアイデアをサービス向上に活かしている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族等が意見や苦情を出しやすいように、市の介護相談員や家族会の活動も活発に行われており、活動内容はホームの運営にも反映されている。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	近接の保育園、小中学校、地域婦人部などと、プラスバンドやコーラス隊の訪問、運動会、クリスマス会、交通安全指導の機会を通して親しく交流している。また、毎月の資源回収や道路の清掃、通学の見守り、地区例祭など、季節を問わず地域との連携を取りながら活動に参加している。

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「馴染みの暮らしを地域の方と協力しながら継続していく」という事業所独自の理念を作りあげている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	1、素敵な笑顔 2、尊厳を守る 3、安心して快適な生活 4、安全で健やか暮らし 5、地域に密着した暮らし という目標を、全職員で共有してその実践に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近接の保育園、小中学校、地域婦人部などと、ブラスバンドやコーラス隊の訪問、運動会、クリスマス会、交通安全指導の機会を通して親しく交流している。また、毎月の資源回収や道路の清掃、通学の見守り、地区例祭など、季節を問わず地域との連携を取りながら活動に参加している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回評価での改善課題について、職員全員による積極的で具体的な取り組みが進められてきている。また、今回の自己評価では、日頃の介護を振り返りながら評価項目の読み合わせを行い、職員全員で検討したものを管理者がまとめているため、その過程を通じて評価の意義の理解も深められている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月ごとに開催されており、事業報告や評価の改善状況報告を行い、会議で出された意見やアイデアをサービス向上に活かしている。		

山形県 グループホームまいづる

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>介護サービス連絡協議会の研修時や窓口に行った際に市の担当者との情報交換や相談が行われており、共にサービスの向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>利用料請求時に健康や日々の暮らしぶりが毎月報告されており、行事等があった場合は「写真便り」を作って家族に送るようにしている。また、運営推進会議や家族面会時の報告、定期的な広報の発行も行われている。</p>		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族等が意見や苦情を出しやすいように、市の介護相談員や家族会の活動も活発に行われており、活動内容はホームの運営にも反映されている。</p>		
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの職員による支援が受けられるように配置異動を行い、職員が交代する場合でも、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>ホーム職員は常勤職員として採用されており、職員異動をできるだけ避け、馴染みの職員による支援が続けられるよう配慮している。また、新人職員がいた場合には引継ぎ期間を十分に取り、利用者へのダメージを防ぐようにしている。</p>		
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修規程を定めて県内の研修や職員の交換研修が行われており、それぞれの段階に応じた職員育成の支援が行われている。また、「介護福祉士」や「ケアマネジャー」などの資格取得にも配慮している。</p>		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>市の介護サービス連絡協議会の研修等で同業者との情報交換やネットワーク作りを行い、サービスの向上に共に取り組んでいる。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	【小規模多機能型居宅介護のみ】 ○馴染みながらのサービス 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(小規模多機能型居宅介護のみの調査項目)		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	花の手入れ、草取り、洗濯物たたみなど、利用者の得意分野でそれぞれの力を発揮してもらおうようにしており、昔の苦労話を聞いたり学びあいながら、共同作業の中で喜怒哀楽を共有している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の思いや意向について、日頃の何気ない会話や行動の中から、利用者の担当職員が中心になって把握するように努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者や家族に関係者を加えたチームで課題検討がなされており、その結果を反映させた介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は定期的に見直されており、また、状態の急変等によって新たに見直しが必要となった時には、チームで十分検討し、現状に即した介護計画を作成している。		

山形県 グループホームまいづる

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	【小規模多機能型居宅介護のみ】 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、 事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をして いる	(小規模多機能型居宅介護のみの調査項目)		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、かかりつけ医 と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受け られるように支援している	かかりつけ医への通院は原則的に家族が、協力病院 への通院は職員の通院介助が行われており、また、往 診の協力も得ながら適切な受診支援が行われてい る。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、でき るだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかり つけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有 している	ホームの設備機能や職員体制からは利用者の重度化 や終末期の対応は難しい面もあるが、出来るだけ家族 の希望に添いながら最善の方法がとれるように努力し たいと考えている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言 葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをして いない	記録の保管や個人情報の取扱いには厳重に注意して おり、利用者への対応は常に理念に立ち返って、職員 相互に注意し合っている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一 人ひとりのペースを大切に、その日をどのように 過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのその日の健康状態や状況に合わ せ、希望を取り入れながら支援している。		

山形県 グループホームまいづる

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の能力に応じて畑での収穫、下ごしらえや盛り付け、配膳、片付けなど、利用者と職員とが一緒に楽しみながら行なっている。また、同じテーブルを囲み会話も弾んだ和やかな食事風景となっていた。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の体調を考慮し、清潔の確保と入浴によるリラックス効果が得られ、楽しく入浴出来るように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	貼り絵や塗り絵、歌や踊り、ボランティアによるマッサージなどの支援が行なわれており、利用者一人ひとりの能力や経験が尊重されている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ドライブや散歩など外出の機会は年間を通して多く設けられており、五感への刺激や気分転換を大切にしたい外出支援となっている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、環境や利用者の状態を考慮しながら鍵をかけないで安全に過ごせるような工夫に取り組んでいる。	利用者の安全を確保しながら見守りが徹底されており、鍵をかけないケアを実践している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防計画があり年に2回の避難訓練等は行なわれているが、夜間の災害発生を想定した訓練の実施はまだ行われておらず、地域住民の協力も十分とはいえない。	○	夜間の災害発生を想定した災害対策の取り組み、また、地区消防団や近隣住民、自治会などからの支援・協力体制の整備も期待される。

山形県 グループホームまいづる

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	旬の食材を利用して利用者の嗜好や食べる能力に合わせた、バランスの良い食事が提供されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	有料老人ホームとの住み替えがあったために食堂が狭くなったが、窓が開くことにより外の景色が眺められ、住民の姿や生活が身近に感じられるようになり、居心地よく過ごすことができている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者や家族の思いを生かしながら、居室内に家具や家電などを持ち込んでおり、一人ひとりが過ごしやすい快適な居室となっている。		